

# なごみ

平成二十九年九月 題字 周防 和衛

## ■感染症の対策について

感染症対策委員長 尾崎馨一郎

まだまだ暑さが残る秋の入り口ですが、これから冬が近づき、空気が乾燥してくると、様々な感染症が流行していく季節です。介護施設において、もっとも注意が必要な感染症の事例としては、感染性胃腸炎（ノロウイルス等）とインフルエンザが挙げられます。



感染性胃腸炎は食中毒とは違い、人から人へと感染します。しかも予防接種等が無い為、予防という点では手洗いの励行はもちろんのこと、吐物等の迅速かつ適切な処理が求められます。

その為、職員に対して毎年一年に二回、研修を行っております。

インフルエンザは重篤化すると、抵抗力の低い高齢者では肺炎や脳症などの重大な合併症を引き起こすことがあります。

宝塚ちどりではご利用者、職員共に特段の理由のない限り同意を得たうえで、義務として予防接種を受けていますが、それで完全に予防できるということでは無い為、油断は出来ません。どちらの感染症も、対策をしっかり行わないと感染が拡大する恐ろしさがあります。特に高齢者施設では、「持ち込まない」「拡げない」等の対応が重要となります。

まずは職員をはじめ、出入りする一人一人が持ち込まないよう、予防することを徹底しなければなりません。職員もトイレ介助の後、食事の配膳前等あらゆる介護場面の前後には、

石鹸でしっかりと手を洗うよう心掛けています。また、

出勤時には手洗い

& うがいをを行い、職員が感染症の媒介

者にならない様、細心の注意を払って

います。また、この

ような行動が日常的な習慣になるように

心掛けていきます。

例年同様、ご家族面会時等、マスクの使用と

アルコールでの手指

の消毒等のご協力をお願いすることがあるかもしれませんが、ご協力の程宜しくお願い致します。



## ◇花火大会特集

夏の終わりを惜しむように、逆瀬川・星の荘ユニット、仁川・武庫川ユニットで花火大会が行われました。その際のご様子をお伝えします。

### 逆瀬川・星の荘ユニット

逆瀬川・星の荘ユニットでは八月十日に花火レクリエーションを開催致しました。開



始前は「火が怖いわ」「外は暑いね」と少しこわばった表情をしておられる方もいました。花火を開始すると「綺麗な花火やね」や「私も手で持ってやってみたい」、「もっと大きい花火はないの」と、笑顔になられていました。また、ご利用者にもっと夏を味わって頂きたいと考え、花火をしながらスイカを召し上がって頂きました。「夏といったらやっぱりスイカやね」と美味しそうに召し上がられていました。花火とスイカ、夏を詰め込み楽しんで頂けたようです。

(安藤)

### 仁川・武庫川ユニット

八月二十三日、十八時半から駐車場前で花火レクリエーションを行いました。今回は、



手持ち花火と吹き出し花火の二種類を用意して楽しんで頂きました。ご利用者にお話を伺うと「久しぶりに見たけど綺麗なやなあ」と言われる方もいれば、「見るのはいいけど手持ちは怖いなあ」と、職員が持つ手持ち花火を見て歓声をあげる方もおられました。暑さを吹き飛ばすような、夏の夜にふさわしいイベントになりました。

(松本)

宝塚ちどりでは、今後もご利用者の皆様に、季節を感じて頂けるようなレクリエーションの企画・開催をしていきたいと考えています。

### グループホーム

#### 開店！炭火焼き鳥ちどり亭

グループホームでは、八月十六日に焼き鳥レクリエーションを行いました。玄関前で朝から職員が炭で火をおこし、ご利用者にも団扇で扇いで頂きながら約八十本の焼き鳥を焼き上げました。



周辺は美味しそうな匂いと煙でいっぱいになり、見学されているご利用者からは「良い匂いやわあ」と歓声があがりました。

当日は実習生も一緒に参加し、お

祭りの屋台のような賑わいになりました。昼食時に皆様にお出しすると「美味しいねえ」「焼きたては違うわあ」等と仰られる人もいれば「焼き鳥にはビールやわ。ビール持って来て」と仰られる人もいました。



皆様、あっという間に召し上がられていました。次回は秋の風物詩である焼き秋刀魚大会を行う予定です。(新井)

### ■委員会報告

#### ◇地域交流委員会

八月の委員会では、九月一七日に開催予定の介護技術講習会について内容の検討を行いました。当日は更衣介助と排泄介助について講習を行います。更衣介助では、衣服の着脱や選び方について、排泄介助では基

本的なトイシ介助の方法について実演します。皆様に充実した時間を過ごして頂けるよう、検討を重ねていきたいと思えます。(ステファニー)

※九月十七日に予定していた介護技術講習会は悪天候のため十月二十九日に延期致しました。

#### ◇研修委員会

八月八日に株式会社クリニコより

講師をお招きし、摂食嚥下についての研修を実施しました。嚥下のメカニズム、摂食嚥下障害の原因から水分のトロミのつけ方まで、幅広い研

### 宝塚ちどり



日程：平成29年9月17日(日)13:30~15:30  
内容：更衣介助(更衣の準備、介助の際の注意) ①②  
排泄介助(尿便の準備、トイレ介助) ③④  
場所：宝塚ちどり1階 テイルーム  
たくさんご参加お待ちしています!!  
皆さんで介護について楽しく学びましょう!!  
※参加費無料(お弁当代別途) ※参加費無料(お弁当代別途)  
お問い合わせ先  
電話:078-713-0880 mail:han@chidori.or.jp  
住所:〒665-0047 兵庫県宝塚市島原町12-30  
宝塚ちどり 宝塚ちどりセンター 宝塚ちどりビル1F  
※定員:30名 先着順にて受付となります(定員超過の場合は、ご了承ください)  
主催:宝塚ちどり



修内容となりました。研修では、トロミをつけたお茶を実際に試飲する体験も行いました。実際に体験することで、改めてとろみのつけかた、介助の方法の大切さを学びました。ご利用者に安心して安全にお食事をしていただけるよう、また、楽しんでいただけるよう、職員一同これからも努めて参ります。(大亀)

#### ◇給食委員会

今年度第四弾目の思い出メニューは、鶴の荘のご利用者から「辛めのカレーと玉ねぎサラダ」についてのエピソードをお伺いし、ご用意させていただきます。今回リクエストは「辛い」カレーでしたが、他のご利用者には辛めにはせず、甘めの味付けにアレンジし提供させていただきました。アレンジをした今回のメニューもとても好評で「この匂い嗅いでるとお腹すくわー」「やっぱりカレーはおいしいね!」とおいしそうに召し上がられている姿が印象的で、完食された方がほとんどでした。



またエピソードをいただいたご利用者に、感想をお伺いすると「辛さもあのかくらいでちょうど良くておいしかった」「サラダ良い味やったわ」「私のためによく研究してくれてありがとうね」と笑顔でお話をして下さいました。



給食委員会では、今後も皆様からのご意見を参考に、お食事の時間が楽しみになるような取り組みを継続・考案して参ります。(兼田)

### ◆事故防止委員会

六月二十七日に開催した事故防止委員会主催の研修の振り返りと、薬に関する事故について話し合いを行いました。

研修のテーマは先月号でお伝えさせて頂きました通り「見守り」です。研修では「見守り」とは見守ること。

気をつけて見ることに。特に、子供や高齢者に対し、安全な状態にあるかどうかについて注意をはらうことと定義されており、簡単に言い切ってしまうえば、見られる側が安心できれば「見守り」、不快に思えば「監視」に当たるといった内容を再度周知しました。また、継続して行っているラウンド結果についても話し合いを行っていきます。次に、お薬の事故に関する事を協議致しました。

去年より増加しているお薬の事故(配薬)について再協議致しました。

各部署で工夫されており改善傾向にありますが、もっと工夫は出来ないだろうか、事故をゼロの数字に近づける為に何が出来るだろうか?と委員会メンバーと専門職の方々と協議致しました。



色々とアイデアが出て来ております。もう少し検討を重ね最善を尽くして参ります。(酒井)

### ◆行事予定

九月二十四日(日) 十四時から敬老祝賀会の開催を予定しています。今年、喜寿、米寿、白寿、長寿、を迎えられた方に記念品の贈呈と表彰状の授与式を予定しています。また、末成ジュニアウィング様によるブラスバンド、

さくら会様によるお琴の演奏等もありますので是非ご参加下さい。

### 敬老祝賀会



日時:平成29年9月24日(日)  
 時間:14:00-15:30 場所:1階ダイニング  
 ①実行 委実挨拶  
 受賞者表彰、記念品贈呈  
 ②末成小学校後援会(末成ジュニアウィング)による演奏  
 ③紫若ランティア(さくら会)による演奏

### ◆編集後記

まだまだ暑い日が続きますが朝夕は涼しい風を感じられるようになりました。店頭では、さつまいもや栗等のスイーツが並び目移りしてしまいます。秋は季節の変わり目で体調を崩しやすくなりますが美味しい物を食べて元気に乗り切りましょう。(新井)

